

安全データシート

作成 1995年10月20日

改訂 2019年05月27日

1. 製品及び会社情報

製品名 : ISHR 3 Acetylation Buffer
製品コード : 315-02761
会社名 : 株式会社ニッポンジーン
住所 : 富山県富山市間屋町 2-7-18
電話番号 : 076-451-6548
FAX 番号 : 076-451-6547

2. 危険有害性の要約

ISHR 3 Acetylation Buffer (トリエタノールアミン) について記載

GHS 分類 : 皮膚感作性 : 区分 1

GHS ラベル要素

注意喚起語危険



警告

危険有害性情報 : H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
注意書き 【安全対策】 P261 ミスト、蒸気、スプレアの吸入を避けること。
P272 汚染された作業着は作業場から出さないこと。
P280 保護手袋を着用すること。
【応急措置】 P363 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
【廃棄】 P501 内容物や容器を適切な焼却炉で焼却するか都道府県知事の許可を受けた専門の
廃棄物処理業者に委託処理する。

上記で記載が無い危険有害性は対象外又は分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学式	CAS 番号	危険有害成分
トリエタノールアミン	0.1M 1.5%(v/v)	C6H15NO3	102-71-6	トリエタノールアミン

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入した場合 : 咳、咽頭痛

皮膚に付着した場合 : 発赤

目に入った場合	: 発赤、痛み
飲み込んだ場合	: データなし
最も重要な徴候症状	: データなし

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	: 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
環境に対する注意	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	: 漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	: 火気注意 眼に入れないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 容器を転倒させ落させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」を参照
保管	
適切な保管条件	: 室温で保管する。
技術的対策	: 特になし
混触禁止物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照
安全な容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	
ACGIH (TLV)	: データなし
日本産業衛生学会	: 設定されていない
設備対策	: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色）	: 無色澄明な液体
臭い	: 無臭
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点 初留点 及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
燃焼又は爆発範囲(上限・下限)	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重(相対密度)	: データなし
溶解度	: 水と混合する
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の条件では安定
危険有害反応可能性	: 弱い塩基性がある。酸化剤と反応する。
避けるべき条件	: 日光、熱
混触禁止物質	: 酸化剤
危険有害な分解生成物	: 燃焼の際、分解し窒素酸化物を含む毒性で腐食性のヒュームを生じる。

11. 有害性情報

ISHR 3 Acetylation Buffer（トリエタノールアミン）について記載			
急性毒性	: 経口 ラット LD ₅₀ =4200mg/kg	含有量 1.5%	区分外
	: 経皮 ウサギ LD ₅₀ >2000mg/kg	含有量 1.5%	区分外
	: 吸入 データなし		
皮膚腐食性・刺激性	: ウサギ 「皮膚刺激性が認められた。: 区分 2 含有量 1.5%」		区分外
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: ウサギ 「眼刺激性試験 刺激性: 区分 2A 含有量 1.5%」		区分外
呼吸器感作性及び皮膚感作性	: 呼吸器感作性 : データなし		
	: 皮膚感作性 : ヒトでアレルギー性接触皮膚炎の報告がある。		区分 1
生殖細胞変異原性	: データなし		
発がん性	: データなし		
生殖毒性	: データなし		
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 「ヒトへの影響として蒸気が鼻を刺激する。区分 3」	含有量 1.5%	区分外
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: 重大な毒性作用が認められなかった。		区分外
吸引性呼吸器有害性	: データなし		

12. 環境影響情報

ISHR 3 Acetylation Buffer（トリエタノールアミン）について記載		
生態毒性	: 藻類 (セネデスマス) EC ₅₀ =169mg/L/96h	水生環境急性有害性: 区分外
残留性/分解性	: 分解度: 0% by BOD	
生態蓄積性	: 甲殻類 (オオミジンコ) NOEC =16 mg/L/21day	水生環境慢性有害性: 区分外
土壤中の移動性	: データなし	
オゾン層への有害性	: データなし	
その他の有害影響	: データなし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場
-------	---

汚染容器及び包装 合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
：空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号 ； 該当なし
海洋汚染物質 ； 非該当
国際規制
陸上規制情報 ； ADR/RID 規制されていない
海上規制情報 ； IMO 規制されていない
航空規制情報 ； ICAO/IATA 規制されていない
国内規制
陸上規制情報 ； 規制なし
海上規制情報 ； 非危険物
航空規制情報 ； 非危険物
特別な安全対策 ； 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

トリエタノールアミンについて記載

消防法 ； 非該当
毒物及び劇物取締法 ； 非該当
労働安全衛生法 ； 名称等を表示すべき有害物（法第 57 条） No.381
名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2） No.381
化学物質管理促進法（化管法） ； 非該当

16. その他の情報

引用 NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)
http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
原料試薬供給先から提供された SDS 等

* 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

* 新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

* 記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

* 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。